

〈中国ろうきん〉を  
通じた  
社会貢献活動

〈ろうきん〉の利用が

# 誰かの笑顔につながる

実施期間 2023年4月1日(土) ~ 2024年3月31日(日) まで

くわしくは  
こちら!



〈中国ろうきん〉では、2012年4月から〈ろうきん〉をご利用いただくことで

「社会に役立つ」ことを実感していただける活動を展開しております。

2023年度は、〈ろうきん〉商品のご利用・ご契約実績に応じて、中国5県の「いのちの電話」と

「ほほえみ基金」へ支援金を寄付いたします。

また、セミナーを開催していただくことにより「社会貢献団体」への寄付も行っております。

## 寄付実績

みなさまの〈ろうきん〉ご利用にもとづき、

11年間で総額**32,487,267円**の寄付を行うことができました。

### 対象商品のご利用・ご契約による「いのちの電話」への寄付

#### ●2022年度 寄付実績

2022年4月~2023年3月末までのご利用実績  
数値にもとづき、下記のとおり寄付を行いました。

【寄付先】いのちの電話  
(鳥取・島根・岡山・広島・山口)へ

合計**1,717,500円**

#### 【ご利用内容】

教育関連商品のご利用と  
カードローンのご契約、預かり資産のご契約

#### ●過去の寄付実績

寄付年度	合計
2021年度	1,568,900円
2020年度	1,627,400円
2019年度	2,050,100円
2018年度	2,180,400円
2017年度	2,233,200円
2016年度	2,062,900円
2015年度	1,979,100円
2014年度	1,737,100円
2013年度	6,719,740円
2012年度	6,291,227円

### セミナー開催による社会貢献団体への寄付

2022年度 寄付実績 合計**1,019,000円**

鳥取	とっとり子どもの居場所 ネットワーク「えんたく」	63,000円
島根	特定非営利活動法人 石西防災研究所	101,000円
岡山	認定NPO法人 ヒカリカナタ基金	252,000円
広島	あいあいねっと (社会福祉法人正仁会)	179,500円
	特定非営利活動法人 フードバンク福山	179,500円
山口	特定非営利活動法人 フードバンク山口	244,000円

ほほえみ基金 合計**337,700円**

2022  
年度から  
開始

みなさまのご利用を、心から感謝申しあげ、今後ともご支援とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

## 〈ろうきん〉をご利用いただくことで社会に貢献できるしくみ

お客さまのご負担なく〈ろうきん〉が寄付を行います

みなさまからお預かりした大切なお金は、住宅・車・教育等の低金利なローンやサービスを通じて  
働く仲間のより豊かな暮らしのために役立てられます。これは、〈ろうきん〉の誕生以来、ずっと変わらないしくみです。



※各商品についてくわしい説明書が必要な方は店頭へお申し出ください。 ※セミナー開催に関する詳細については〈中国ろうきん〉へお問い合わせください。

### Q1

#### 各県の「社会貢献団体」とは?

推進機構と協働して進めるろうきん運動を通じ、さまざまな社会的課題の解消に取組む社会貢献団体を支援。各県推進委員会が決定した団体を寄付先としています。

#### 〈寄付の対象となるセミナー〉

- ライフプランセミナー
- 住宅ローンセミナー
- 教育セミナー
- 資産形成セミナー
- 年金・企業年金セミナー
- 相続・贈与セミナー
- 多重債務防止セミナー
- NPOセミナー
- など

上記は一例です。

くわしくはお気軽にお問い合わせください。

### Q2

#### 「ほほえみ基金」とは?

「ほほえみ基金」は、公益財団法人日本対がん協会が2003年4月にピンクリボン活動など乳がん征圧のために設けた基金です。がんで悲しむ女性を一人でも減らすため活動しています。乳がん検診機器の整備、患者や啓発団体の支援など、乳がん征圧に向けて幅広く活用されています。



Pink Ribbon  
©日本対がん協会

くわしくは

公益財団法人日本対がん協会  
<https://www.jcancer.jp/>

### Q3

#### 「いのちの電話」とは?

電話を通して人々の悩みを聞き、共に考え、心の支えになっていこうと活動を行うボランティア団体で、主に自殺予防のために活動しています。ボランティアによる電話相談が始まったのは1953年。ロンドンで自殺した少女への痛みから、チャドバラー牧師が組織的な電話相談活動を始めました。今では世界100か国、1000を超える都市に活動が広がっています。1971年、日本でもボランティアによる電話相談がスタート。日本自殺予防学会や国際自殺予防学会と連携し、2022年現在、「日本のいのちの電話連盟」に加盟する全国50カ所のセンターで、約5,800名の相談員が活動しています。

●なぜ、「いのちの電話」への支援が必要なのか  
「いのちの電話」は、無償のボランティア相談員による市民活動です。事業は相談員の無償の活動で支えられていますが、運営のために必要な施設の維持費、研修費、事務費、広報費などのための資金は、有志の個人・法人の寄付により支えられています。しかし、活動に必要な費用が十分に賄われているとは言えないのが現状です。「いのちの電話」の活動を支え、孤独・孤立の中で苦しんでいる方々を支えるために、安定・継続的な支援が必要なのです。  
\*2021年相談件数 534,167件



くわしくは次ページで  
ご紹介します。

2023年4月1日から2024年3月31日までのご契約やご利用が対象となります。中国5県の「いのちの電話」には、原則として3か月に1度、〈ろうきん〉が当該商品のご利用・実績にもとづく寄付金をまとめ、寄付いたします。「ほほえみ基金」には、原則として年に1度、〈ろうきん〉が当該商品のご利用・実績にもとづく寄付金をまとめ、寄付いたします。「社会貢献団体」には、原則として年に1度、〈ろうきん〉が当該セミナーの開催実績にもとづく寄付金をまとめ、寄付いたします。